

@itamiarts



itamiarts inc.

*Advertisement Planning, Graphic Design
Web Design, and Web Marketing, Visual Identification*

**2025年1月期 第3四半期
決算補足説明資料**

2024年12月13日

証券コード：168A

株式会社イタミアート

損益計算書の概要

売上高は、積極的な新規顧客獲得策が奏功したことと卸販売強化で+16.5%と大きく増加

営業利益は、売上増や売上総利益率の改善などで+22.8%と大きく増益

(単位：百万円)

	2024年1月期 第3四半期	2025年1月期 第3四半期	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額	概要
売上高	2,402	2,799	+16.5%	+396	<ul style="list-style-type: none"> ▶ EC売上は前期の脱コロナ禍の特需を上回る水準 <ul style="list-style-type: none"> ・積極的なプロモーションやSEO対策で新規顧客獲得 ・選挙特需 ▶ 卸販売強化が功を奏す <ul style="list-style-type: none"> ・主要取引先への提携商品の強化 ・インサイドセールスによる新規獲得 ・既存客営業強化で、リピート受注／大口受注が増加
売上総利益 (率)	953 (39.7%)	1,150 (41.1%)	+20.7%	+197	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 売上増加に伴う利益額の増加 ▶ 材料費（輸入生地）の決済をドル建てから円建てに変更 ▶ ロス率の改善
販管費	764	918	+20.2%	+154	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 新規顧客獲得のため広告宣伝強化 ▶ 売上増加に伴う荷造運賃の増加 ▶ 上場関連費用（販管費）計上
営業利益	189	232	+22.8%	+43	
経常利益	215	208	▲3.1%	▲6	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 前年は為替差益が発生 ▶ 上場関連費用（営業外費用）計上の影響
四半期純利益	148	141	▲5.0%	▲7	

四半期売上推移



売上の主な季節要因

極端な偏りは無いが、以下の傾向がある

1Q：＜3月＞
企業の年度末駆け込み需要の増加や新生活に向けた販促活動が活発化

2Q：＜6月・7月＞
夏場のイベント需要増加に伴い、うちわなどの販売が増加

3Q：＜9月・10月＞
秋冬商戦に向けた販促物入れ替え需要などで、のぼり旗や横断幕の需要が増加

4Q：＜12月～1月＞
営業日数が少ない月であること、広告需要の閑散期

事業KPI: トランザクション数 × 平均客単価

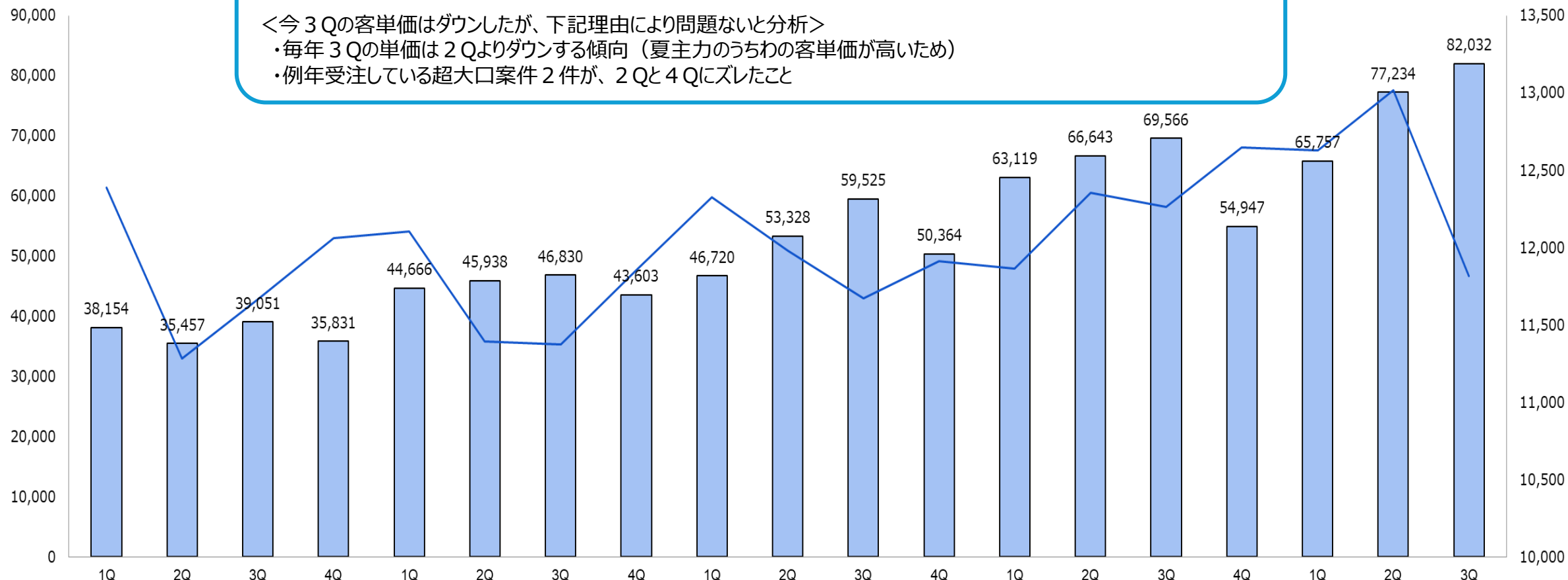
トランザクション数 及び 平均客単価 ともに 上昇傾向

<今3Qの客単価はダウンしたが、下記理由により問題ないと分析>

- ・毎年3Qの単価は2Qよりダウンする傾向（夏主力のうちの客単価が高いため）
- ・例年受注している超大口案件2件が、2Qと4Qにズレたこと

<トランザクション数 (単位: 件) >

<平均客単価 (単位: 円) >



■ トランザクション数 ● 平均客単価

21/1期

22/1期

23/1期

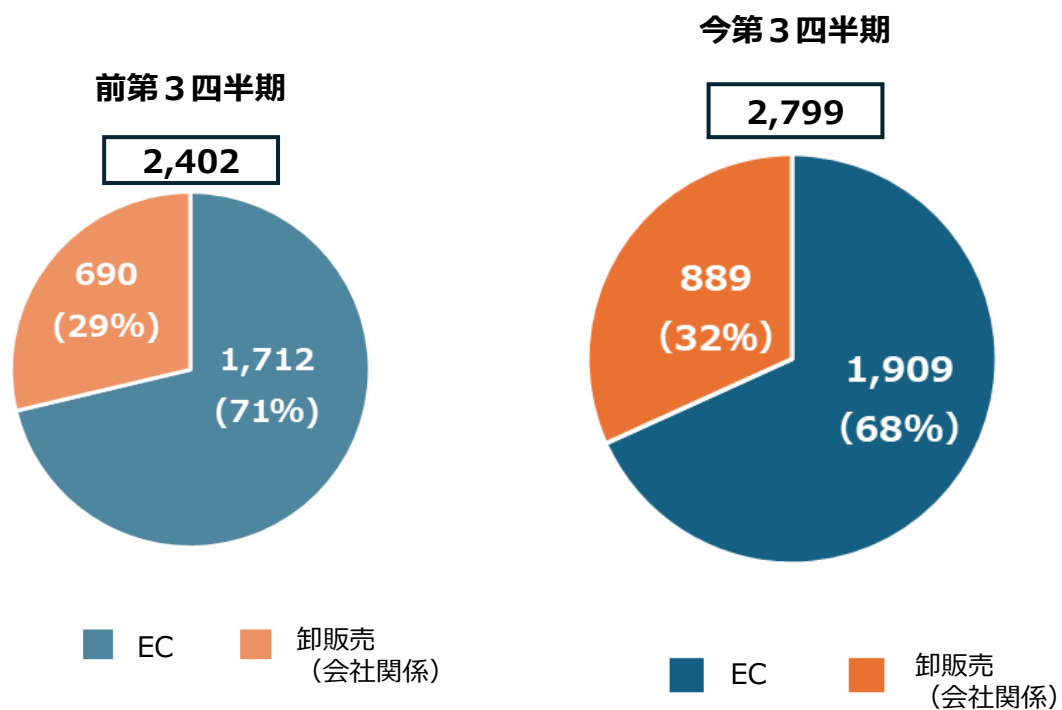
24/1期

25/1期

損益計算書の概要

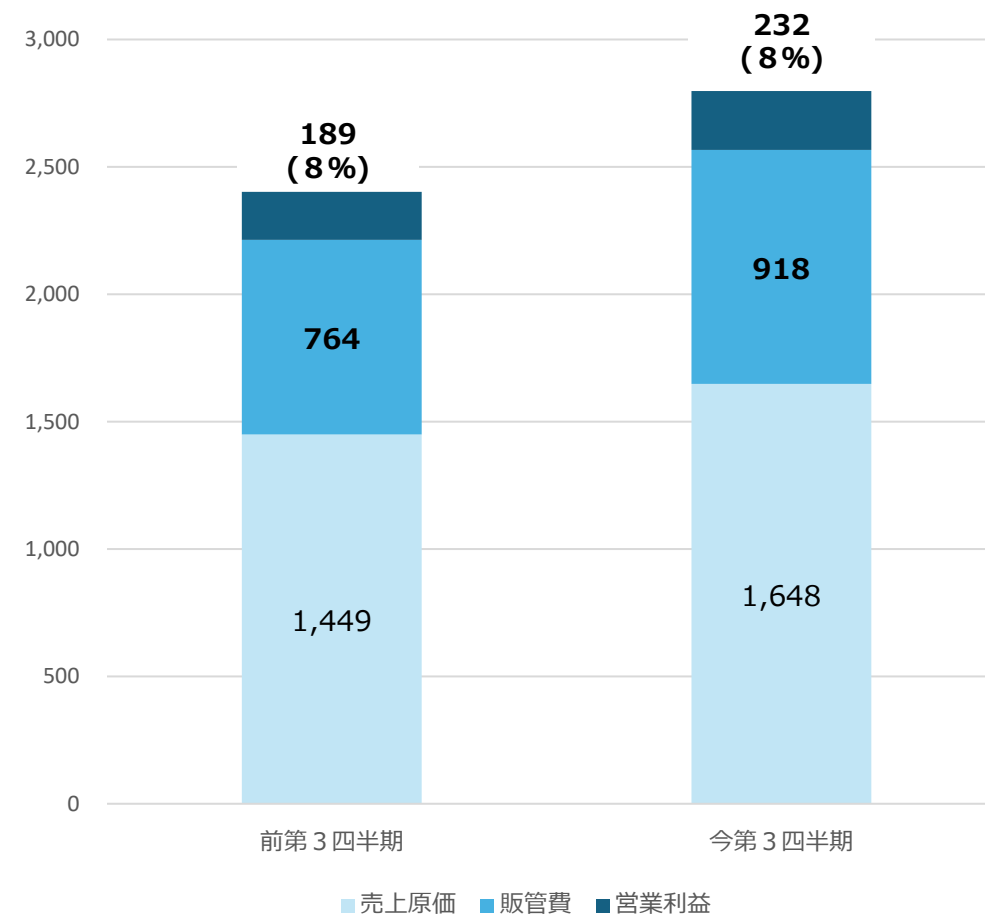
(単位：百万円)

売上高 (構成比)



(単位：百万円)

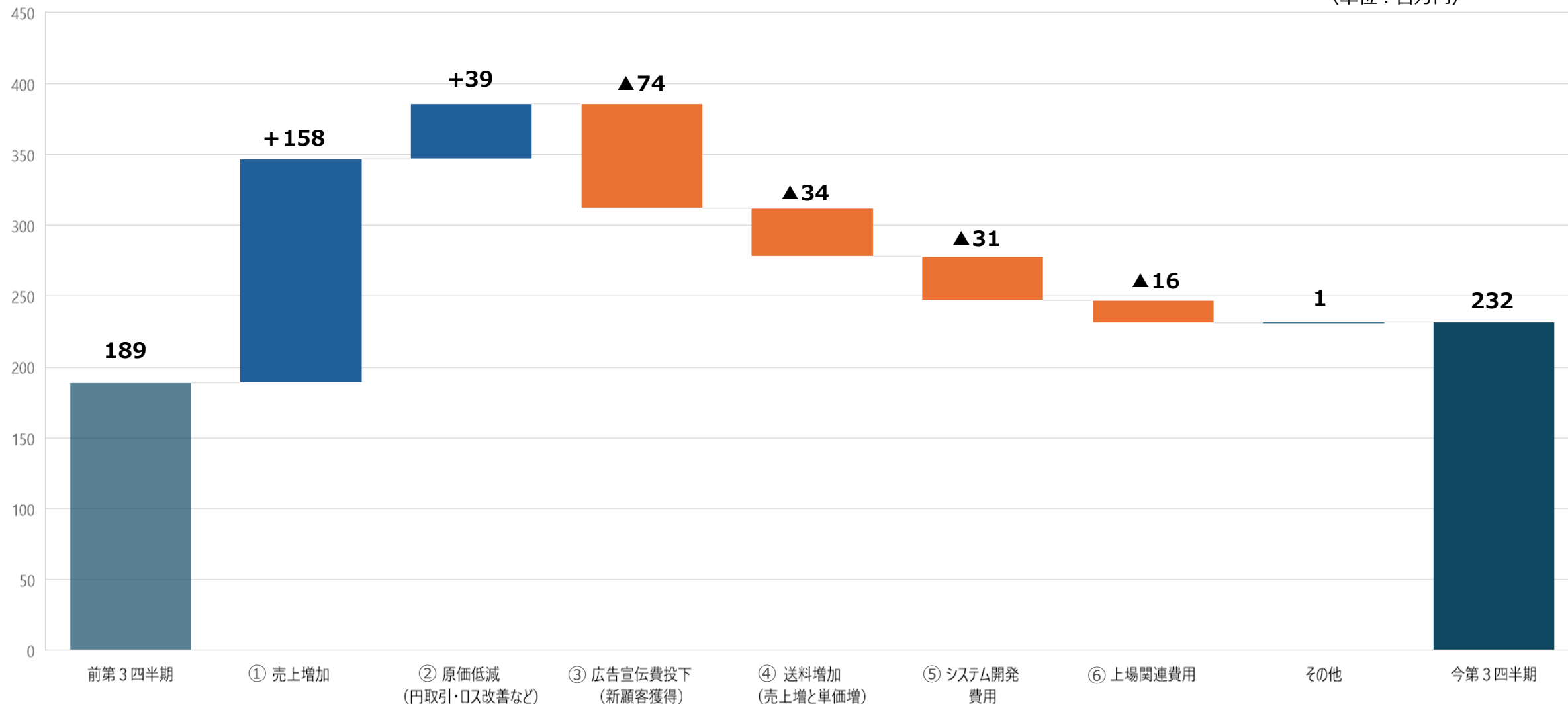
営業利益構造



損益計算書の概要

営業利益増減 主要因

(単位：百万円)



損益計算書の概要

営業利益増減主要因 概要説明

	概要	説明	営業利益影響額 (百万円)
①	売上増加	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上増加に伴う総利益額の増加 	+158
②	原価低減	<ul style="list-style-type: none"> ■ 決済をドル建てから円建てに変更したことで材料費（輸入生地）の低減 ■ 製造工程改善によるロス率の改善 ■ 採用による労務費は増加 	+39
③	広告宣伝費投下	<ul style="list-style-type: none"> ■ 積極的なPR活動やSEO対策を実施し、新規顧客の獲得に注力 ■ 新規顧客の獲得は、来期以降のリピート売上につながる 	▲74
④	送料増加	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上増加に伴う荷造運賃の増加 ■ 単価上昇 	▲34
⑤	システム開発費用	<ul style="list-style-type: none"> ■ 製造工程を効率化するため、自動化の拡大を前倒しで実施 ■ 業務量増加への対応と生産性向上のため 	▲31
⑥	上場関連費用	<ul style="list-style-type: none"> ■ 監査報酬の増額 ■ 上場関連費用（法定開示書類作成・株式事務・IR関連 等）の新規発生 (内、今期特有の費用は10百万円) 	▲16

貸借対照表の概要

(単位：百万円)

	2024年1月末	2025年1月期 第3四半期	増減額	主な増減要因
流動資産合計	897	1,432	+534	▶現金及び預金が360百万円増加 ▶売上債権が156百万円増加
固定資産合計	1,629	2,345	+716	▶工場増設（2024年10月竣工）などによる増加
資産合計	2,526	3,778	+1,251	
流動負債合計	810	820	+9	
固定負債合計	1,295	1,776	+481	▶長期借入金が481百万円増加
純資産合計	421	1,180	+759	▶公募増資により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ309百万円ずつ増加
負債・純資産合計	2,526	3,778	+1,251	
(自己資本比率)	16.7%	31.3%	+14.6pt	▶公募増資により自己資本比率が改善

第3四半期は計画を上回る水準で推移したが、業績予想に変更なし

(単位：百万円)

	2024年1月期 実績	2025年1月期 計画	前期比 増減率	前期比 増減額	概要
売上高	3,112	3,554	14.2%	+442	▶上期施策を継続し、EC売上・卸販売ともに順調な伸長を見込む
売上総利益	1,207	1,392	15.3%	+184	▶円取引開始で為替影響を受けにくくなる ▶防炎加工内製化開始が11月に遅延 ▶システム開発は継続 ▶主力商品の販売単価見直し ▶人員計画・工場移設計画の見直し
販管費	1,014	1,211	19.4%	+197	▶上場関連費用（販管費）計上の影響（今期特有の費用は10百万円） ▶人員計画見直し
営業利益	192	180	▲6.2%	▲12	
経常利益	221	165	▲25.1%	▲55	▶上場関連費用（営業外費用）計上の影響（今期特有の費用は17百万円） ▶前期、為替差益計上が19百万円
当期純利益	153	114	▲25.2%	▲38	

免 責 事 項

- 本資料は、株式会社イタミアートに関する情報提供を目的とし、投資家の皆様にご理解いただくために作成したものであり、当社が発行する有価証券に対する投資を勧誘することを目的としたものではありません。
- 本資料を作成するにあたっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報によって生じた損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであり、その情報の正確性、完全性を保証し、また確約するものではありません。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることがあり、また予告なしに変更されることがある点を認識された上でご利用ください。

IRに関する
お問い合わせ先

株式会社イタミアート 管理本部：一ノ瀬
TEL : 086-805-4150
E-mail : itami.ir@itamiarts.co.jp